コロナ対策も人権第一の判断で

新型コロナウイルスの変異株が猛威を奮い始め、いくつかの地域で緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令されています。ワクチン接種がどれだけ進むのか？にも注目されていますが、飲食の場面に対する対策、人の流れを抑制するための措置、水際対策、東京オリンピックの是非など課題は山積みの状態です。

毎日発表される感染者数、重傷者数、死者数ですが、その数字に対策効果の判断はあっても、数字だけで人の命を測っては決していけません。それぞれの命は最も大切で大勢の中の一人ではなく、1/1 なのです。日々の状況に慣れることなく、医療従事者をはじめ、尽力している全ての人に敬意を払い、みんなで力を合わせるべき事態です。特に市民を守る行政や首長には、人を思いやり想像する基本的人権感覚、人権第一の判断での対応を望みます。

体罰によらない子育てのために

家庭内のストレスと体罰増加の懸念

長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響で、多くの子育て家庭で育児ストレスが蓄積しているのではないかと懸念しています。そうした中、親が“しつけ”のつもりで子どもに体罰を行うケースも少なくないのではないかと心配です。

我が国では、一昨年に児童虐待防止法が改正され、昨年４月から親などによる体罰が法律で禁止になりました。（※同法 14 条 1 項（要旨）：親権者は、児童のしつけに際して体罰を加えてはならない、等）

体罰によって子どもの行動が変わったとしても、それは、たたかれた恐怖等によって行動した姿であり、自分で考えて行動した姿ではありません。子どもの成長の助けにならないばかりか、心身の発達等に悪影響（例：脳機能への障害等）を及ぼしてしまう可能性があります。

また、全ての子どもは、健やかに成長・発達することが権利として保障されており、体罰は子どもの権利（人権）を侵害する行為です。我が国で子どもの権利が守られる体罰のない社会を実現していくためには、私たち一人ひとりが子どもの人権を尊重する意識を一層育むとともに、子育て中の保護者に対する支援を一層充実していく必要があると思います。

体罰によらない子育てを支援するために

それでは、体罰によらない子育てを推進していくために、どのように取り組めばよいのでしょうか。一つは、妊娠期から始める子育て教育の充実だと思います。

例えばNPO法人・子育てひろば全国連絡協議会では、妊娠期からの切れ目ない支援のために、地域子育て支援拠点でできる「プレママ・プレパパ向け講座」のワークショップ等を全国各地で開催してきました。

こうした取り組みも参考に、県内各地にある地域子育て支援センターが市町村の母子保健や子育て支援の担当課等と連携して、これから親になる父母の多くに、こうした講座に参加してもらえるよう働きかけることが大切と思います。

また、地域で子育てを支援する人たちを増やしていくために、県や市町村等で“子育て支援員”の養成や活用をさらに積極的に取り組んでいくべきと考えます。

私ども、国連 NGO 横浜国際人権センター・山梨ブランチにおきましても、県内で行う人権啓発パネル展や人権移動教室、行政職員等への人権研修などを通じて、子どもの人権を尊重した子育ての大切さを引き続き訴えていきたいと思います。

＜ご参考＞

厚生労働省「体罰等によらない子育てのために～みんなで育児を支える社会に～」

NPO 法人・子育てひろば全国連絡協議会「これからママ・パパになる人のために～地域子育て支援拠点ができること～」

【県内事例】韮崎市子育て支援センター“にら★ちび”主催の「プレパパ・プレママ講座」

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。

国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチ　会長：横山隆史
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨
〒400-0031　山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563　FAX. 055-243-8564　http://yamanashi.yihrc.or.jp/　E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

＜協賛＞
山梨県
甲府市
甲斐市

協賛企業：（株）成心設備、西関東開発（株）、（株）ウィルマート、（株）R&C、（株）フジコー、（株）渡辺工業所、甲府市管工事協同組合

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲斐市立双葉中学校（女子）

今まで、「人権」とは社会の授業で聴くぐらいで、実際詳しくは知らなかったけど、今回の講話で深く知る事ができた。人権は、自分の命と幸福を守る、大切なものであり、生きていく中で尊重しなければならない事と実感できた。また、人権を尊重するために、人に優しい心を持ち、人の事をしっかり考えなければならないと思った。だから、自分勝手な行動は許されないと感じた。私はそれだけでなく、DVDを観て世界には私達の知らない問題や出来事を知る事ができた。私はそれを知って良い機会だと思った。私は、このような問題は少しは聞いてわかっていたけれど、実際に生で見て恐ろしいなと感じた。また、私はこの問題を聞き見て過ごすだけでなく、これからじっくり考えていかなければならないと思った。

私は今回感じた事、学んだ事を活かして人権を大切にしたいと思う。今回の講話は私にとって良い機会だったと思う。

甲斐市立双葉中学校（女子）

「人権」と言われてもあまりぱっと浮かばないけど、今日の講話をきき少しわかった。

「幸せになりたい」「死にたくない」このように人には願望がたくさんあって、でも自分だけがうまくいっても人から嫌われたりとやっぱ難しいと感じた。私が思ったことは人の幸せを願える人が人生が充実して幸せに暮らせるのかなと思った。人権をインターネットで調べても簡潔な答えはでてこないと思うけど今日の映像を見て自分で何か考えさせられた。

私は今の生活に満足しているけど、世の中にはそうでない人もたくさんいて、難民や食料不足で苦しんでいる人がいて、その人たちのために、今、自分が何ができているかと考えると、何もできていない。

今日の講話で人のためにできる人になりたいと思った。